

8月りんご生産情報



令和6年8月5日発行
J A つがる弘前
岩木地区営農係

平年よりも気温が高く推移する見込みです。こまめな休憩と水分補給で熱中症対策を行いましょう!!
気象庁発表の一ヶ月予報によると昨年同様、早生種の着色時期は高温に遭遇する見込みです。早期にストッポール散布や葉摘みを行うと着色難、軟質果の原因となりますので、天候を考慮し、適期作業で良品果率を上げましょう。

○肥大状況について（8月1日現在：単位cm）

地点	つがる		ジョナ		王林		ふじ	
	本年	昨年	本年	昨年	本年	昨年	本年	昨年
小沢	8.7	8.3	7.1	6.7	6.9	6.6	6.7	6.1
五代	7.7	7.8	-	-	6.5	6.7	7.0	6.4
百沢	7.6	7.0	7.2	6.4	6.1	6.4	6.1	6.4
東目屋	7.0	7.0	6.6	6.5	6.1	6.0	6.3	6.1
西目屋	7.2	7.1	6.8	6.5	-	-	6.8	5.8
農協平場平年値	7.1		6.8		6.3		6.1	

○早生種ストッポール散布

品 種	ストッポール散布デー	使用 方 法
未希ライフ、きおう サンつがる、葉とらずつがる	8月15～20日	・倍 数 1,000倍 ・散 布 量 350～400L/10a ・散布回数 1回 ・使用時期 収穫7日前まで ・単用散布、展着剤不要

散布後、高温が続くと見込まれる場合は、散布日をやや遅らせましょう。

○早生種の着色管理

つがるは陽光面に着色し始めた頃が葉摘みの時期です。ストッポール散布後5日以上たってから行うようにしましょう。また、葉の枚数や芽の数が少ないため葉摘みはつる元を中心に行い、つる回し中心の着色管理を行いましょう。つがるはスグリもぎを行うことで残った果実の着色、肥大が進むので徹底しましょう。

ストッポール散布の25日後頃までを目安に収穫を終えましょう。着色を待ちすぎて収穫遅れになると導管切れを発生し、味抜けや軟質など品質低下が懸念されます。

○中生種の着色管理

ひろさきふじ（早生ふじ）の葉摘みは9月5日頃（最低気温が15℃程度の日が現れる）から始めましょう。反射シートは葉摘み終了後1～2日後に敷きましょう。

○薬剤散布

回数 (散布量)	散布時期	薬剤名及び調合順序 (剤型)	倍 数	1,000 当り薬量	防除上の注意
12 (500) 8/16頃	8月半ば	イカズチ (WDG) オマイト (水) アリエッティC (水)	1,500倍 750倍 800倍	333g×2袋 1.34kg×1袋 1.25kg×1袋	アリエッティCは最後に混用しましょう。
13 (500) 8/30頃	8月末	ダイパワー (水) フェニックス (FL)	1,000倍 4,000倍	1kg×1袋 250ml×1本	
14 (500) 9/13頃	9月中旬 すす病対策	ストライド (顆粒水)	1,500倍	333g×2袋	7月下旬の降水量が多く、病害の発生が懸念されますので、特別散布を実施しましょう。

りんご出荷者の皆様へ

りんご栽培履歴は、9月2日(月)までに支店窓口へご提出ください。9月以降に農薬散布をした場合は、窓口に特別散布報告書を用意しておりますので、記入の上ご提出ください。